

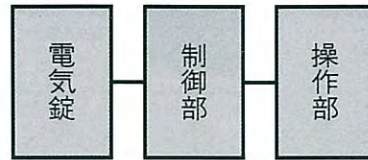
電気錠をお選びになる前に

システム

1

電気錠システムの基本構成

電気錠（電気ストライク）を作動させるためには電気錠だけでなく、必ず電気錠・制御部・操作部の3点が必要です。（制御部と操作部が一緒になったタイプもあります。）
電気錠システムをお選びになる場合は上記3点をご発注いただきますようお願い申し上げます。



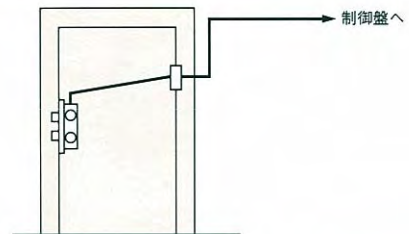
また、電気錠を正しく作動させるためには、建具工事だけでなく電気工事も必要です。配管・配線はもちろんですが、結線や機器の取付等、最初から施工区分を明確にしてください。

2

扉の種類による電気錠の選び方

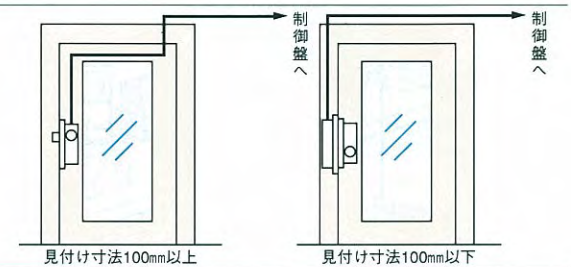
1. フラッシュ扉の場合

ほとんどすべてのタイプの電気錠を取付けることができます。



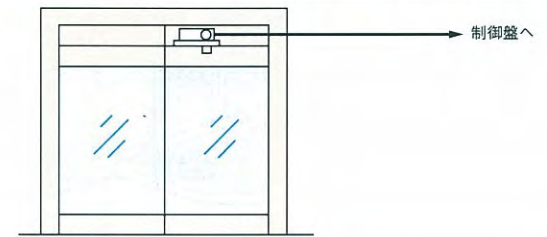
2. 框扉の場合

框の見付け寸法が100mm程度以上の場合（有効内寸80mm以上ある時）は本締電気錠AL3M型が使用できます。それ以外の場合は枠側に電気ストライクを取付け、扉に自動施錠タイプの錠（AH、HK等）を使用するのが一般的です。



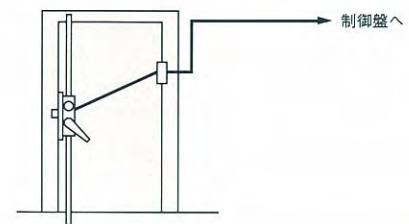
3. 強化ガラス扉の場合

扉自身に電気錠を取付ける事ができないので、無目に本締電気錠を下向きに取付けて、扉の上框にデッドボルトを落とす方法になります。



4. その他の場合

重量扉やエアタイト入りの防音扉等にはグレモン電気錠をご使用ください。また、木製扉をご使用の場合は扉メーカーと良くご相談ください。



3

お願い

どんなに良い錠前でも、その取付けられる扉、あるいは扉の支持金物が良くない場合は、その機能が十分に果たせません。扉および扉支持金具も良いものをお選びくださるようお願いいたします。

電気錠は、電気で施錠することを除いては、通常の錠前とまったく同じです。取付けに際しては、通常の錠前と同様のご注意をお払いいただくようお願いいたします。

電气的に施錠しない場合には、錠前として正しい取付けがなされているかどうか、また、電気錠と制御盤の間は正しい結線がなされているかどうかを、真っ先にご確認ください。

なお電気錠を直接雨水等がかかる場所で使用することは避けてください。

屋外に面する場所で使用する場合は、扉内部の錠本体（錠ケース）に雨水等が流れ込まないようにするとともに、水抜きを設けて扉内部に水が溜まらないようにしてください。

電気錠扉の運用モード

電気錠の動作は使用目的によりいくつかに分類されます。当社では電氣的な動作により、A、B、Eの3種類のモードを設定しています。

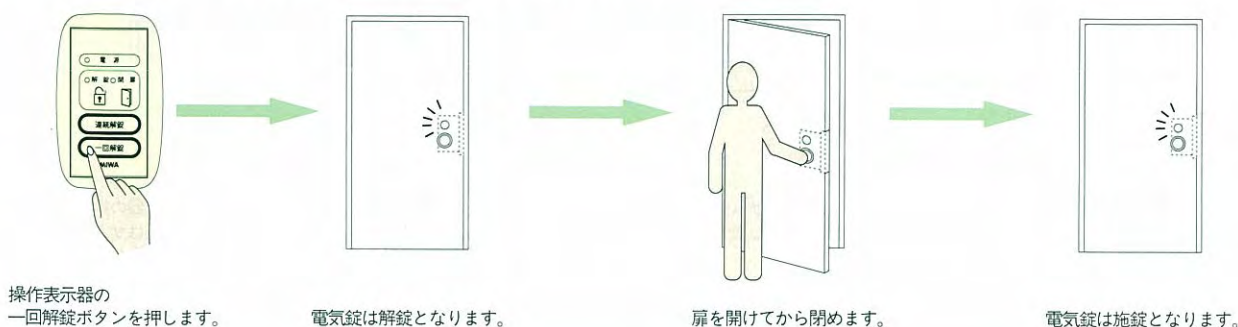
Aモード

Aモード：閉扉自動施錠機能

電気錠（電気ストライク）を扉が閉まると自動的に施錠になる機能で使用する場合をAモードと言います。解錠するときの動作の仕方により、一回解錠と、連続解錠があります。

1. 一回解錠

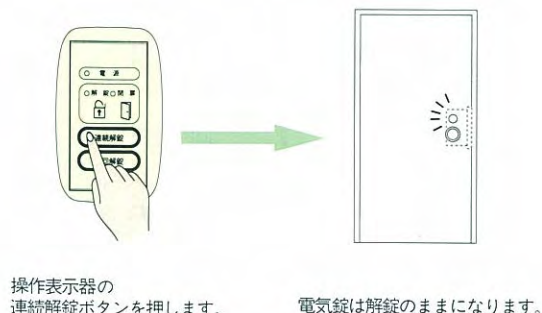
操作表示器の一回解錠ボタンを押すと、あらかじめ設定した時間だけ電気錠が解錠します。この時間内に扉を開けて、再び閉めると電気錠は自動的に施錠になります。一回解錠ボタンを押して解錠しても扉を開けなかった場合は、設定した時間が過ぎると電気錠は施錠になります。なお、キーまたはサムターンで解錠した場合は扉を開けて再び閉めると自動的に施錠になりますが、解錠しても扉を開けなかった場合の電気錠の動作は錠種により異なります。



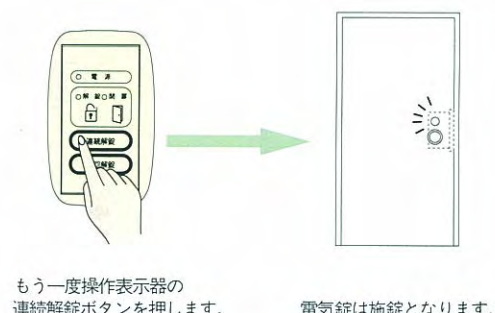
2. 連続解錠

操作表示器の連続解錠ボタンを押すと、もう一度連続解錠ボタンを押すまでの間は解錠のままになります。連続解錠状態ではキーまたはサムターンでも施錠はできません。施錠に戻すにはもう一度連続解錠ボタンを押します。

●電気錠を解錠する場合



●電気錠を施錠する場合



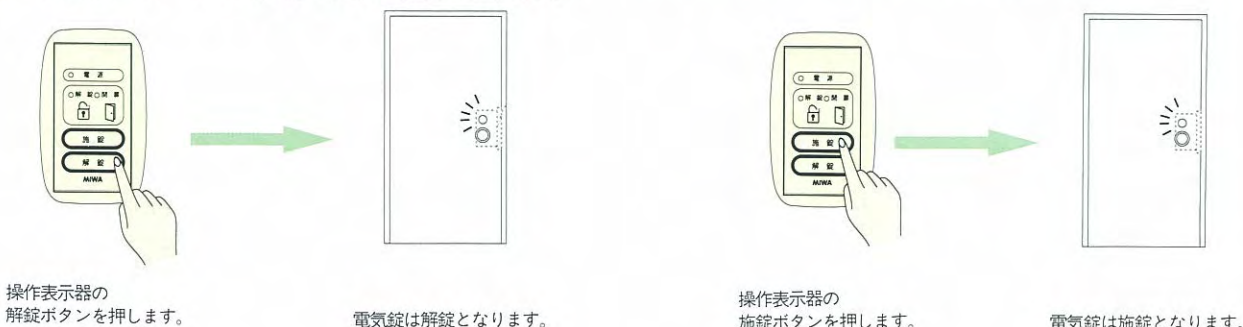
Bモード

Bモード：施解錠繰り返し機能

電気錠を施錠と解錠を交互に繰り返して使う場合をBモードと言います。

Bモードの場合の電気錠の動作

操作表示器の解錠ボタンを押すと施錠中の電気錠が解錠します。また施錠ボタンを押すと解錠中の電気錠が施錠します。キーまたはサムターンでも同様に施錠と解錠ができます。



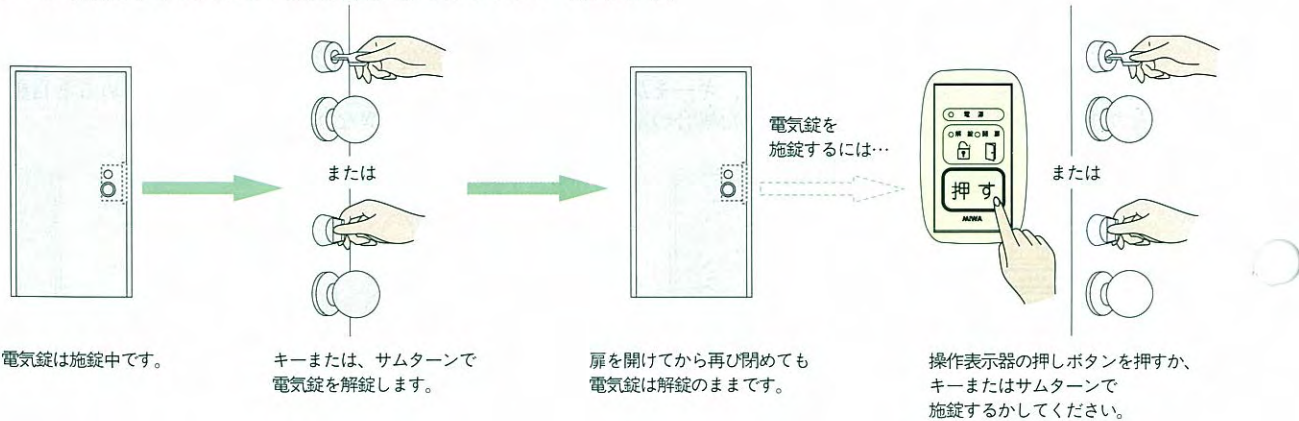
Eモード

モード

Bモードと同様に施錠繰り返し機能ですが、電氣的に解錠したときのみ閉扉自動施錠する機能をEモードと言います。

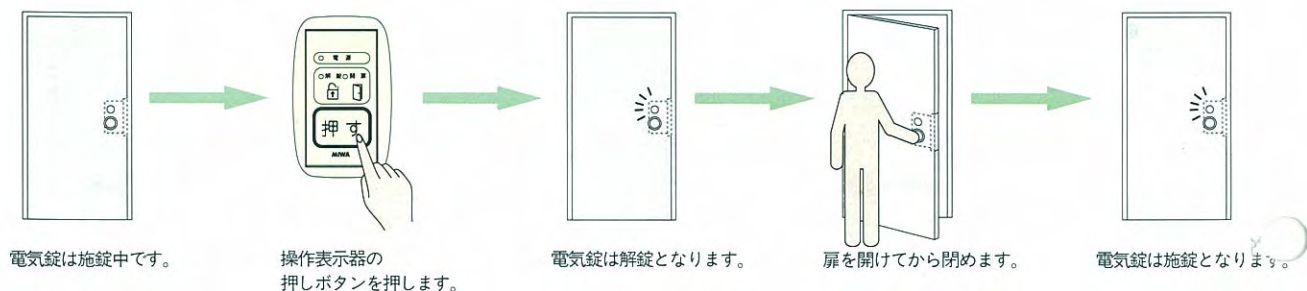
1. Eモードの場合の電気錠の動作——キーまたはサムターンで解錠した場合

電気錠が施錠中にキーまたはサムターンで解錠した場合は再び扉を閉めても解錠のままです。施錠するにはキーまたはサムターンで施錠するか、あるいは操作表示器の押しボタンを押します。



2. Eモードの場合の電気錠の動作——操作表示器で解錠した場合(電氣的に解錠した場合)

電気錠が施錠中に操作表示器の押しボタンを押すとあらかじめ設定した時間だけ電気錠が解錠します。この時間内に扉を開けて再び閉めると電気錠は自動的に施錠します。押しボタンを押して解錠しても、扉を開けなかった場合は設定した時間が過ぎると施錠となります。



操作方法の違いによる出入り口管理の機器

出入り口の管理方法を何にするかによって、システムをお選びいただけます。

操作方法	方式	種別	管理人員	管理ゲート(数)	システム最大接続数	制御機器(型式)	掲載ページ		
カード	接触式	磁気	6	1		MCL	564, 565		
			898	1		MCU-001	688		
			1250	1		MC-2130	690		
			3000/1台	2	32(台)	MC-2520	691		
			10/1ゲート	1・2		BAN-Y2	657		
		バーコード	1000/1ゲート	1	50	BAC-001	679		
リモコン	非接触式	電波	8	1		RR	684, 685		
			640	1	3	RRU-002			
			6400	6		RRU-003			
カード				8	1		NTU-001	682, 683	
				3200	1		NTU-002		
				6400	1~4		NTU-003		
			1500/1ゲート	1	50	NTC-003	675		
リモコン				8	1		RKU-001	686, 687	
				640	1	3	RKU-002		
				6400	6		RKU-003		
暗証番号	ランダムテンキー			1		TK4L	568, 569		
	マジカルテンキー			1		TKU-002	671		
	ファイブキー			1		TKU-010	672		
指紋	指紋照合式		1000(指)	2	50	FPU-002	678		
鍵	鍵	鍵		1		KS-(31, 41, 110, 220)	705, 706		
	カード併用	磁気	2000	51		KHBOX	692~694		
		IC	2000	51		KHBOX			
集中監視盤	多回線式				4・8・16・24・32	80ゲート※	BAN-AS	661	
インターホン タイマー				1			BAN-ES1	669	
	2線式			1・2			BAN-A1, A2	659	
				1・2				BAN-AS1, AS2	660
				2				BAN-ASEU	664
遠隔操作				1		SSP-C1 ^D _E	658		
				2		SWP-C2 ^{DP} _{EE}			
インターロック	2線式			2			BAN-IS2	667	
				2			BAN-IS2C	668	

※盤の種類(AS4、8、16、24、32)の組合せにより、管理ゲート数は減少する場合があります。管理ゲート数は制御機器1台で制御できるゲート数(電気錠数)を示します。また、システム最大接続数はパソコン等により集中管理する場合の制御機器数を示します。

キーレスシステムの選択のポイント

キーレス
システム
の選択の
ポイント

キーレスシステムをお選びになる場合、バーコードカード、磁気カード等多数のシステムがあります。各々特長があり、その特長を生かしてシステムをお選びいただくのが良いと思います。以下にいくつかの選択のポイントから見た各システムの比較をしましたので、お選びいただく際にご参照ください。

■様々なキーレスシステムの選択のポイント

(注) 製品の仕様については、製品の該当ページを必ずご確認ください。

選択のポイント	バーコードカード	磁気カード	ノンタッチカード	ICカード	リモコンキー (または 楽楽key)	指紋照合	テンキー	キー
カードなどを持ちたくない						●●	●●	
解錠操作が非常に簡単			●●		●			
耐久性	●●		●	●	●	●	●	●●
屋外に面した扉での使用	●●		●		●		●	●●
カード自体のメモリー容量の大きさ				●●				
カード自体のメモリーの書き換え		●		●●				
複製や改ざん等の難しさ	●		●●	●●	●●	●●		
盗難や盗用の難しさ						●●	●	
カード等の価格が安い	●	●						●●

●●：選択のポイントが特に優れているもの
●：選択のポイントが優れているもの

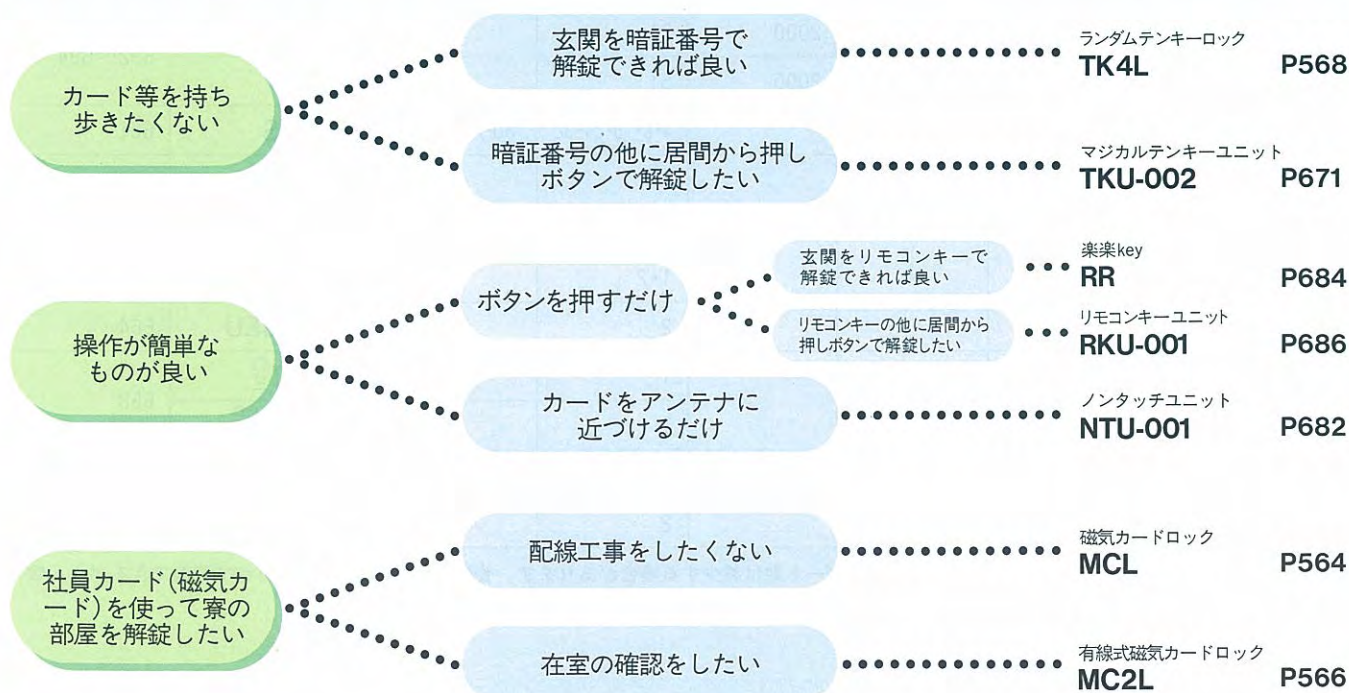
■目的別に選ぶキーレスシステムの例

(注) 製品の仕様については、製品の該当ページを必ずご確認ください。

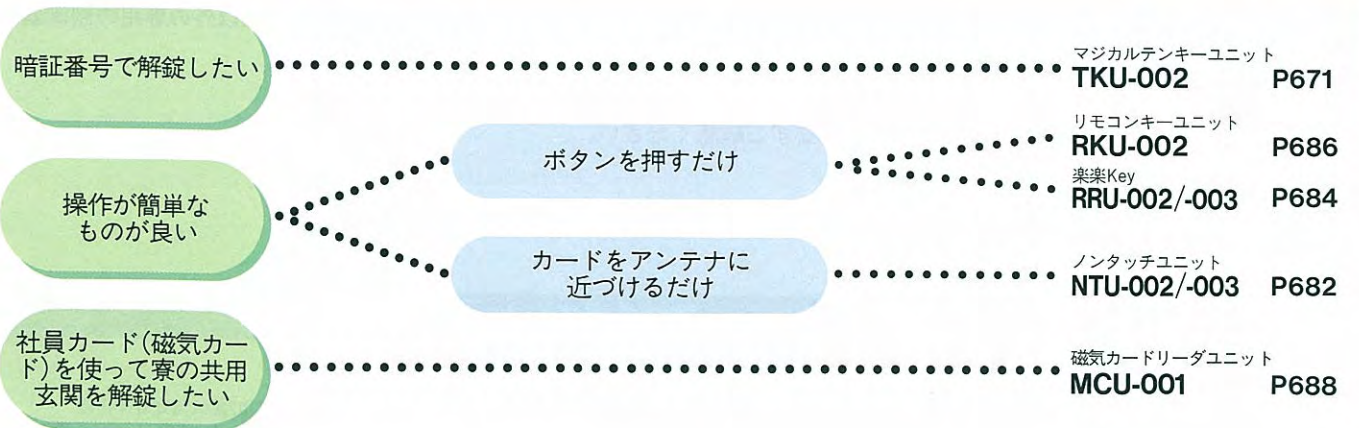
住宅、寮等の玄関の場合

製品名

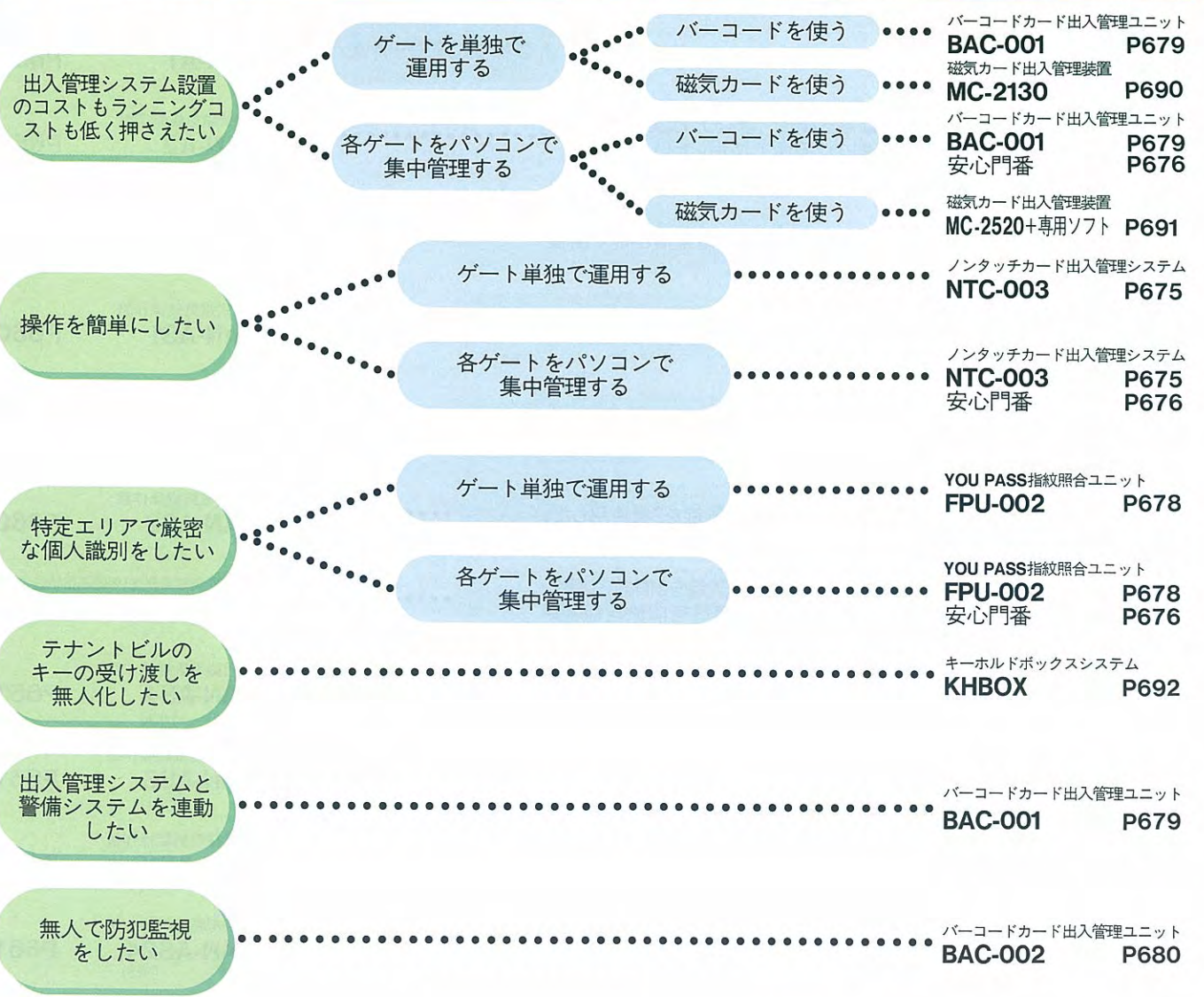
本文ページ



集合住宅の共用玄関の場合 製品名 本文ページ



オフィスの場合 製品名 本文ページ



電気錠制御盤・操作盤の選定のポイント

電気錠制御盤・電気錠操作盤をお選びになる場合、使用する電気錠の数や特定の用途などに適用する制御盤・操作盤をお選びいただくのが良いと思います。以下に一般的な用途、特定の用途の選択の例を示しましたので、お選びいただく際にご参照ください。また、カードリーダーやテンキーなどのキーレスシステムをご使用になる場合はここに示す機種以外の専用の制御器を使用する場合があります。(P620、621参照)

電気錠制御盤・操作盤の選定のポイント

(注) 製品の仕様については製品の該当ページを必ずご確認ください。

■一般的な用途の電気錠制御盤・電気錠操作盤

使用する場所	選択のポイント	製品名	本文ページ
住宅に電気錠を使用したい	電気錠を玄関1箇所で使用したい	小型、住宅用の機能、施工が簡単 住宅用2線式電気錠操作盤 BAN-715S	P670
		小型、低価格、電気錠種を限定(AST) 住宅用電気錠操作盤 BAN-ES1	P669
		多機能、施工が簡単 2線式電気錠制御盤 BAN-A1	P659
	電気錠を玄関と門扉(または玄関と裏口)2箇所で使用したい	2線式電気錠制御盤 BAN-A2	P659
集合玄関、共用エントランスに使用したい	停電補償機能が必要	2線式電気錠操作盤(停電補償機能付) BAN-ASEU	P664
	停電補償機能が必要	2線式電気錠操作盤 BAN-AS1	P660
ビル、工場、病院等事業所に電気錠を使用したい	電気錠を1個使用したい	2線式電気錠操作盤 BAN-AS1	P660
	電気錠を2個使用したい	2線式電気錠操作盤 BAN-AS2	P660
	電気錠を2個まで使用し、停電補償機能も必要	2線式電気錠操作盤(停電補償機能付) BAN-ASEU	P664
	電気錠を4個まで使用したい	多回線電気錠操作盤 BAN-AS4 (※1)	P661
	電気錠を8個まで使用したい	多回線電気錠操作盤 BAN-AS8 (※1)	P661
	電気錠を16個まで使用したい	多回線電気錠操作盤 BAN-AS16 (※2)	P661
	電気錠を24個まで使用したい	多回線電気錠操作盤 BAN-AS24 (※2)	P661
	電気錠を32個まで使用したい	多回線電気錠操作盤 BAN-AS32 (※2)	P661

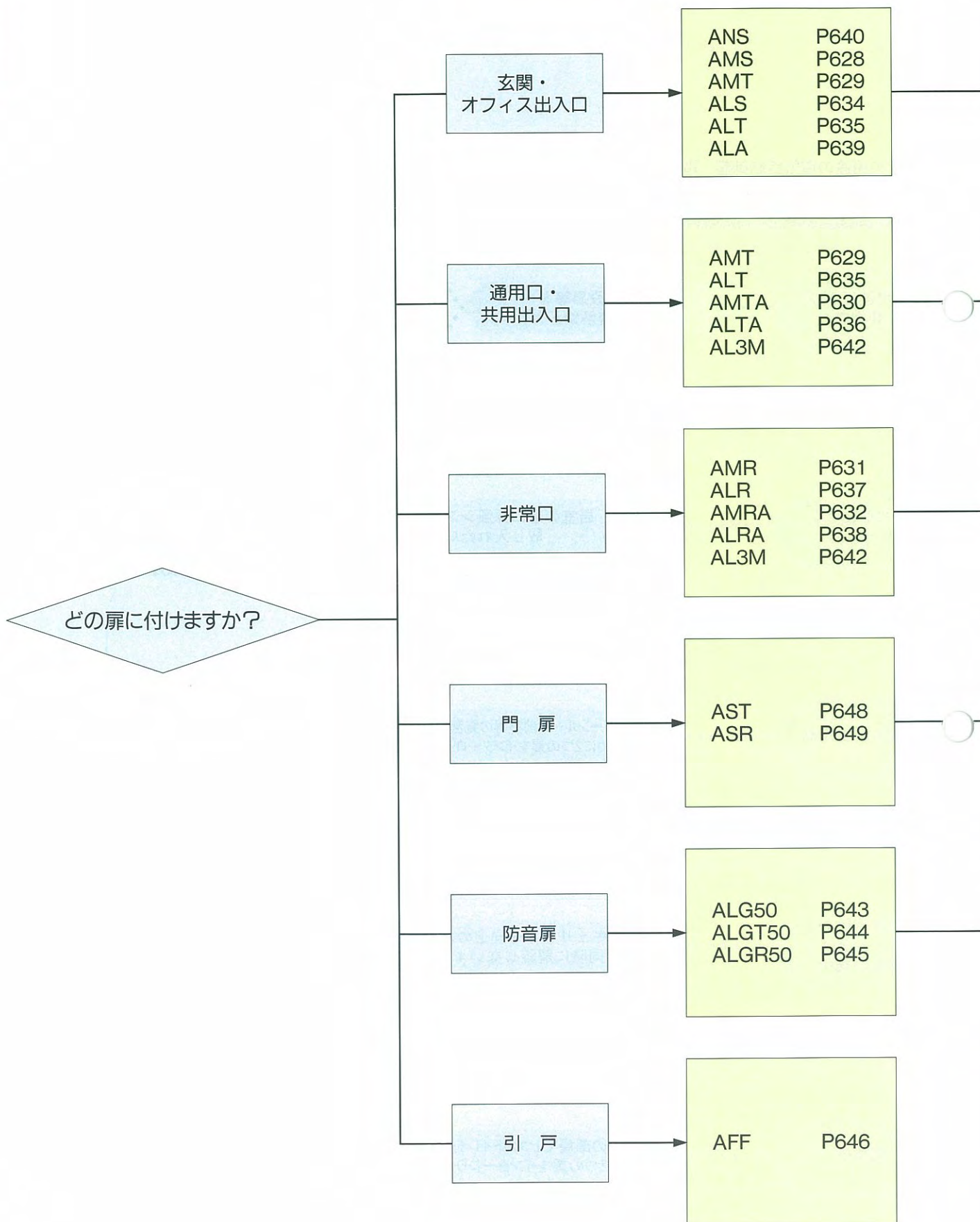
(※1) 停電補償オプション
(※2) 停電補償標準装備

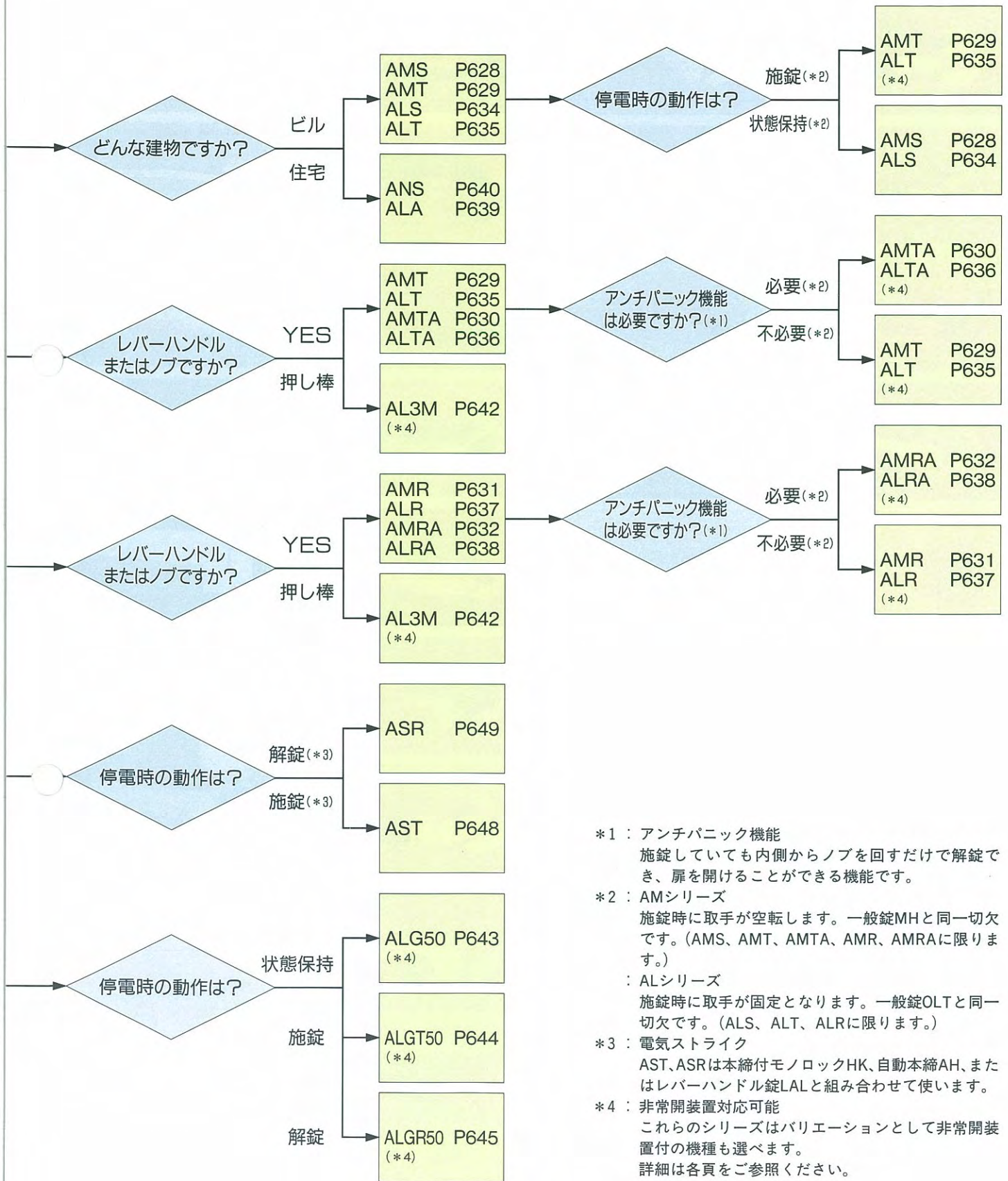
■特定の用途の電気錠制御盤・電気錠操作盤

使用する場所	選択のポイント	製品名	本文ページ
小規模ビルの非常口	非常階段扉等を電気錠で施解錠したい	電気錠を8個まで使用したい 多回線電気錠操作盤 BAN-AS8 (※1)	P661
		電気錠を16個まで使用したい 多回線電気錠操作盤 BAN-AS16 (※2)	P661
特別養護老人ホーム等	居室の窓に採風システムを取り入れたい	電気錠操作盤 BAN-TS + 窓採風用 錠・電気ストライクセット EL-101	P666 P651
研究室、工場等	クリーンルーム前室等の気密性を確保するために2つの扉をインターロック制御したい	2線式インターロック操作盤 BAN-IS2	P667
重要施設のセキュリティの高い場所	セキュリティ向上のため2つの扉が同時に解錠しないようにしたい	2線式インターロック操作盤 BAN-IS2	P667
病院等	2つの部屋で1つのトイレを共用するために2つの扉をインターロック制御したい	2線式インターロック操作盤(2居室共用トイレ用) BAN-IS2C	P668

電気錠選定のためのフローチャート

電気錠選定のためのフローチャート





- *1 : アンチパニック機能
施錠していても内側からノブを回すだけで解錠でき、扉を開けることができる機能です。
- *2 : AMシリーズ
施錠時に取手が空転します。一般錠MHと同一切欠です。(AMS、AMT、AMTA、AMR、AMRAに限ります。)
ALシリーズ
施錠時に取手が固定となります。一般錠OLTと同一切欠です。(ALS、ALT、ALRに限ります。)
- *3 : 電気ストライク
AST、ASRは本締付モノロックHK、自動本締AH、またはレバーハンドル錠LALと組み合わせて使います。
- *4 : 非常開装置対応可能
これらのシリーズはバリエーションとして非常開装置付の機種も選べます。
詳細は各頁をご参照ください。

KNOB and LEVER HANDLE DESIGNS

ノブ・レバーハンドルデザイン一覧表

ノブ・レバーハンドル

